日本計量新報
計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
http://www.keiryou-keisoku.co.jp/
振替口座　00140−5−12935
購読料年間 25,000円（消費税別）

2019近畿計量大会11月15日開かれる

滋賀県大津市のびわこ大津プリンスホテルに200名が参集

近畿計量大会が11月15日、滋賀県大津市のびわこ大津プリンスホテルに200名が参集した。近畿計量協議会会長感謝状を贈呈した。記念講演は2題。その1は喜多酒造㈱九代目次期蔵元喜多麻優子氏、演題『創業200年、日本酒「喜楽長」を継ぐ―女性から見たモノづくりの楽しさ―』、その2は桂三風氏、演題『落語から学ぶ商売の智恵』。大会終了後は懇親会を開催し、交流を深めた。次年度は京都府計量協会の主催で開催する。

鍋島日計振会長

三日月滋賀県知事

阿部室長

田中理事長

田中秀康滋賀県計量協会理事長が主催者あいさつ

2019年11月15日、大津市のびわこ大津プリンスホテルで13時に開会。開催県の田中秀康滋賀県計量協会理事長が主催者あいさつ。つづいて来賓の経済産業省阿部一貴計量行政室長、三日月大造滋賀県知事、細江正人滋賀県議会副議長、鍋島孝敏日本計量振興協会会長が祝辞。

近畿計量大会のようす

■感謝状贈呈

近畿計量協議会長感謝状を、近畿計量協議会会長藤田眞弘氏から江州計器工業取締役会長海出美重氏に贈呈した。

■2題の記念講演

大きな催しは2題の記念講演で、その1は喜多酒造㈱九代目次期蔵元喜多麻優子氏、演題『創業200年、日本酒「喜楽長」を継ぐ―女性から見たモノづくりの楽しさ―』、その2は桂三風氏、演題『落語から学ぶ商売の智恵』。

参加者は200名。懇親会など併催して19時に散会。

■来賓と感謝状受賞者

出席来賓と大会式次第は次のとおり。

【出席来賓（敬称略）】▽経済産業省産業技術環境局計量行政室長阿部一貴▽滋賀県知事三日月大造▽滋賀県議会副議長細江正人▽日本計量振興協会会長鍋島孝敏▽産業技術総合研究所計量標準総合センター工学計測標準研究部門総括研究主幹根本一▽近畿計量協議会会長藤田眞弘▽滋賀県商工観光労働部長森中高史▽滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課長天川隆男▽京都府計量検定所長福田伸也▽兵庫県産業労働部産業振興局工業振興課副課長繁田博文▽大阪府計量検定所長福山喜彦▽和歌山県商工観光労働部商工労働政策局商工観光労働総務課長高瀬彰彦▽奈良県産業振興総合センター計量検定室長吉田英弘▽滋賀県計量検定所長櫻井淳▽日本計量新報社代表取締役社長横田俊英

感謝状贈呈

【近畿計量協議会会長感謝状受賞者】江州計器工業㈱取締役会長海出美重氏

■2019年近畿計量協議会大会次第

【開催日】2019年（令和元年）11月15日㈮

【場所】びわこ大津プリンスホテルコンベンションホール2階「淡海」

【大会】

1、開会（司会：武久敬子）

2、開催県あいさつ：滋賀県計量協会理事長田中秀康

3、来賓祝辞

4、来賓紹介

5、表彰式：近畿計量協議会長感謝状贈呈

〈休憩〉

6、記念講演

Ⅰ講師：喜多酒造㈱九代目次期蔵元喜多麻優子、演題『創業200年、日本酒「喜楽長」を継ぐ―女性から見たモノづくりの楽しさ―』

Ⅱ講師：落語家桂三風、演題『落語から学ぶ商売の智恵』

7、次年度開催地京都府あいさつ

8、閉会の辞：滋賀県計量協会副理事長松宮晴樹

〈休憩〉

【懇親会】

1、開宴（ミニライブ―サクソフォーンパラダイス―）

2、閉宴：閉会あいさつと手締めは滋賀県計量協会副理事長岡野公。

（次ページへつづく）

3268・3269号を合併号とし、12月15日付で発行します。

桂三風氏

喜多麻優子氏

今週の主な記事

2019近畿計量大会開かれる ①②面
寄稿「年縞博物館」（松本榮壽）、全国計量記念日行事(5) ③面
産業技術環境局長表彰(2) ④⑤面
特集とうきょうの計量No270 ⑥⑦⑧⑨面
資料・計量管理と収益性改善―自動捕捉式はかりの全数データー取得・分析（ブルボン黒坂篤志）(4) ⑩⑪面
社説：カメラの撮影枚数にみる技術開発とリチウムイオン電池、東洋計量史無料一般開放、新光電子が特別賞受賞 ⑫面